

宮川大輔が1カ月半で2度目の「コロナ陽性」…ってありえるの？ 専門医に聞いた

2022/9/4 日刊ゲンダイ



宮川大輔 (C) 日刊ゲンダイ

吉本興業は9月1日、タレントの宮川大輔（49）が新型コロナウイルスに感染したことを発表した。同日に発熱し、病院でPCR検査を受けた結果、陽性と診断されたという。

宮川は7月21日にも、テレビ出演に伴いPCR検査を受けた結果、陽性が判明していた。この時は無症状だった。

これにはネット上で、「再感染ではなくてリバウンドでは？」《2ヶ月以内に2度感染ということは別の変異株に感染したということだろう。》などと、約1カ月半で2度目の「陽性」反応に疑問の声が相次いでいる。

昨年2月には、東京大医科学研究所の河岡義裕教授（ウイルス学）らの研究チームによって、新型コロナウイルスに感染した人は、抗体が発症後3～6か月維持されていると発表されている。

オミクロン株は抗体が3か月持たないということなのか？ 浜松医療センター感染症管理特別顧問の矢野邦夫氏に聞いた。

「宮川さんは7月中旬に感染し、今回も陽性となっています。その間の期間は1カ月半。9月1日にPCRを実施したところがポイントです。PCRは感染してから、2カ月程度陽性のことがあります。ウイルスはいないけれども、PCRの感度が良すぎて、コロナのRNAを検出してしまうことがあります」

日本でもクルーズ船での集団感染が問題になっていた頃は、PCRが2回陰性となるまで入院という状況だった。

「そのころはPCRがなかなか陰性とならずに2カ月ほど入院している人がいました。今回、抗原定性検査（感度が鈍い）をしたならば、陰性であったのではないかと推測できます。つまり、9月の陽性は7月の感染の残存であったと推測できます。もし、3カ月経過した10月中旬でのPCR陽性であれば、2回目の感染かもしれないと推定することになります。3カ月前回の感染でPCRが影響をうけることはないことと、3カ月経過すると、再感染がありうるからです。宮川さんの場合、状況からみておそらく別の原因による発熱で、PCR検査したら陽性になった可能性も考えられます」

もし感染後に短期間で陽性となっても、新型コロナウイルスに感染したと即断すべきではないだろう。

「またPCRであっても、Ct値を見て、過去の感染なのか、新規の感染なのかは推測できません。Ct値が高ければ過去の感染で、低ければウイルス量が多く、最近の感染と推測できるからです」（矢野邦夫氏）

万が一、コロナ以外の重大な病気による発熱の可能性もある。3カ月以内の「再陽性」は疑ってもいいかもしれない。